



村山地域

ホームページは  
こちら

## 施設基本情報

### 住所

山形県上山市金谷字下河原1370

### 病床数

354床

### 診療科

精神科・心療内科・内科

## 薬剤部門

### 薬剤師数

薬剤師数 4名

薬剤助手 1名

### 処方箋数

外来	入院
105枚/日	41.3枚/日

### 院外処方箋発行率

97.5%

### 薬剤管理指導件数

592件/年 49.3件/月

## 施設の特徴

初代理事長が「豊かな田園の中で地域と共存できる病院」を掲げ、現山形さくら町病院の分院とし開設されました。

昭和40年代後半より病院をあげて開放化に取り組み。治療環境の見直し、民主的人間関係づくり、医療活動の再構築、そして地域社会との関係見直し連携強化を図ってきました。

今日まで、病院整備計画を経てアメニティー機能の向上と専

門病棟・専門外来の充実。精神科作業療法、精神科デイケア、重度認知症患者デイケア、グループホーム、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等々、リハビリ機能、地域生活支援の充実を図り、活発なチーム医療の実践と、「地域精神医療を担う中核病院」として、地域の皆様の信頼・期待に答えるべく総合的な精神医療を展開しています。

## 薬剤部門の業務紹介

入院・施設調剤、注射払い出し、DI業務、薬剤管理指導、入院時持参薬・他科受診薬鑑別、褥瘡回診。私たち精神科薬剤師は、患者様の「困っている症状」が少しでも軽減、改善、回避に繋がっていく役割を担っています。抗精神病薬は様々な特徴を持っており、その特徴を考慮した薬物治療、薬剤師はそれに関する検査・処方提案に関与することが重

要になってきます。現在、当院では医師へのLAI（持効性注射剤）の処方提案に力を入れて取り組んでいます。薬剤師の提案を医師が採択することも多くあります。精神科領域に限らず、医師、多職種に相談を受けることが多く幅広い知識も必要で、意図的に学んでいく姿勢が取れます。総合病院ともまた違ったやり甲斐が得られます。各種研修会等への参加、精神科薬物療法認定薬剤師・専門薬剤師取得に向けて様々な症例を経験することでスキルアップできます。業務内容が比較的安定しており業務時間内で完結するため、有給休暇なども取りやすくプライベートも充実させたいという方にはとても良い環境です。





ホームページは  
こちら



## 施設基本情報

### 住所

山形県上市市弁天2丁目  
2番11号

### 病床数

183床

### 診療科

整形外科、内科、脳神経外科、  
リハビリテーション科、歯科、  
放射線科、麻酔科

## 薬剤部門

### 薬剤師数

薬剤師数 7名  
薬剤助手 1名

### 処方箋数

外来 入院  
5.5枚/日 85.6枚/日

### 院外処方箋発行率

96.0%

### 薬剤管理指導件数

65件

### 病棟薬剤業務実施状況

実施

### 認定・専門薬剤師

日本病院薬剤師認定指導薬剤師  
日本栄養治療学会認定NST専門療法士  
日本栄養治療学会認定栄養治療専門療法士(在宅)  
日本薬剤師研修センター認定薬剤師

## 施設の特徴

みゆき会は各世代への「専門的医療サービス」とニーズに即した「高度な介護サービス」によって地域の持続的な発展を支えます。

その基本方針は以下の4つです。

- 患者様・利用者様の権利を尊重し、相互の信頼関係を大切にします。
- 医療・福祉の専門家として、知識と技術の向上に努め、最善の医療・介護に努めます。
- 地域の医療・福祉施設との連携を図り、トータルサービスの提供に心がけます。
- 地域のみなさまから安心され、選ばれる施設づくりを目指します。

## 薬剤部門の業務紹介

当院薬剤科では、入院患者様が安心・安全に薬物療法を受けられるように、医薬品の管理業務、調剤業務、製剤業務、薬剤管理指導業務を行っている。特に調剤業務においては全自動錠剤分包機、錠剤鑑査支援システムを導入しての内服薬一包装調剤を行い、病棟に払い出しを行っている。さらに、多職種と連携・協

働し、医療チームの一員として薬剤師の立場で感染制御チームでのICTラウンド、栄養管理褥瘡対策チームでの栄養管理にも積極的に参加している。

現在、勤務している薬剤師の年齢層は30代が中心であり、薬剤師として薬物療法にアグレッシブに取り組んでいきたいと考えている。





村山地域



## 施設基本情報

### 住所

山形県上山市川崎三丁目7番1号

### 病床数

60床

## 薬剤部門

### 薬剤師数

薬剤師数 1名

### 処方箋数

外来 入院  
0.1枚/日 14.8枚/日

### 院外処方箋発行率

99.3%

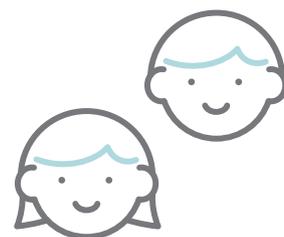
## 診療科

小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神科、歯科

## 施設の特徴

こども医療療育センターは、障がい児（者）の多様化する福祉ニーズを的確に捉え、市町村等の関係機関と連携しながら、センターが有する医療、

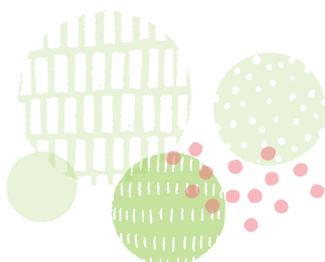
機能訓練、生活指導等の専門的機能を活かして、障がい児（者）に対する医療・療育サービスを総合的に提供する県立の施設です。



## 薬剤部門の業務紹介

調剤・製剤業務を中心に、施設で使用する様々な医薬品の購入・管理・供給や各部署に配置している医薬品・消毒

薬等の保管・管理状況の確認を行う医薬品管理業務及び医薬品に関する様々な情報を周知する医薬品情報提供業務。





村山地域

ホームページは  
こちら

## 施設基本情報

### 住所

山形県天童市大字久野本  
362番地の1

### 病床数

**226**床

### 診療科

精神科、心療内科、内科

### 施設の特徴

安全と安心に基づいた信頼される精神科医療を通じ、地域社会に貢献します。精神科急性期治療病棟を中心に、早

期退院を目指し、退院後の生活を支えていくことを目標に、多職種で連携を取るチーム医療に取り組んでいます。

## 薬剤部門

### 薬剤師数

薬剤師数 **2**名  
薬剤助手 **1**名

### 処方箋数

外来 入院  
**0.2**枚/日 **58.1**枚/日

### 院外処方箋発行率

**99.8%**

### 薬剤管理指導件数

**15**件/月

### 薬剤部門の業務紹介

〈理 念〉 医薬品の適正使用、適正管理を実行し、安全な薬物療法を目指します。

〈業 務〉 入院調剤、注射剤払い出し、院内医薬品の供給・管理。治験薬の管理。

〈DI業務〉 医薬品の情報収集・整理・提供。院内医薬品集・DIニュースの作成。

〈病棟業務〉 服薬指導、病棟配置薬・救急カートの確認と

在庫管理。持参薬の鑑別、お薬の説明書作成、消毒薬の使用期限チェック。

全自動散薬分包機、一包化に心強い自動錠剤分包機、散薬監査システムの導入により、過誤防止に繋がり、作業効率も良くなりました。業務内容が多岐にわたりますが、夜勤や当直、残業もなく自分の時間、家族との時間、自己研鑽の時間を確保することができ、いろいろなライフステージにも理解のある職場です。

当院には、薬剤師を目指す学生を対象に貸与する奨学金制度があります。詳細については、遠慮なくお問い合わせ下さい。





村山地域

ホームページは  
こちら

## 施設基本情報

### 住所

山形県天童市鎌田1丁目7-1

### 病床数

124床

## 薬剤部門

### 薬剤師数

薬剤師数 3名

### 処方箋数

外来	入院
93.8枚/日	32.8枚/日

### 院外処方箋発行率

97.5%

### 薬剤管理指導件数

55件/月

## 診療科

内科、外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、精神科（もの忘れ外来）、歯科口腔外科

## 施設の特徴

一般病棟、地域包括ケア病床、人間ドックの他に認知症治療病棟があり、人工透析も有しています。一般医療と高齢者医療の両方をミックスした時代の要求に適應した病院

となっています。

また、天童温泉の源泉を使用した温泉浴室を備えており、入院した患者さんにも喜ばれています。

## 薬剤部門の業務紹介

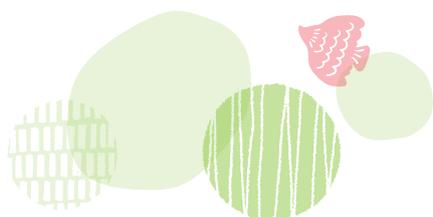
外来では、院外処方箋に対する疑義照会は薬局を窓口に対応しています。

入院では、持参薬鑑別・薬剤管理指導・カートへの注射剤個人払い出しなどの業務を行っています。

また当院ではがん温熱療法を行っており、それに伴う化学療法併用時の抗がん剤ミキ

シング（安全キャビネット内で閉鎖式接続器具使用）や、新型コロナウイルスワクチン接種におけるワクチンの希釈・分注業務も薬局にて行っています。

その他、医療安全委員会、感染対策委員会、褥瘡対策委員会、輸血委員会などに参加しチーム医療の一員として活動しています。





村山地域

ホームページは  
こちら

## 施設基本情報

### 住 所

山形県天童市駅西5-2-1

### 病床数

84床

## 薬 剤 部 門

### 薬剤師数

薬剤師数 2名

薬剤助手 1名

### 処方箋数

外来	入院
16.9枚/日	26.0枚/日

### 院外処方箋発行率

90.9%

### 診療科

内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、脳神経外科

### 基本理念

地域医療の砦として命の喜びと尊さを共感できる病院

### 施設の特徴

現在、近隣の高度急性期・急性期病院と連携しながら、主に亜急性期・回復期病院として地域に密着した診療を行っています。

### 薬剤部門の業務紹介

患者さんを中心に考えた医薬品の適正使用を推進し、より安全かつ適切な薬物療法が行われるよう、専門知識の習得と技術の向上に努めています。

具体的には、お薬の調剤、注射剤の調剤、医薬品の管理、

医薬品情報の管理、入院患者さんへのお薬の説明などを行っています。その他、医療安全委員会、感染対策委員会、褥瘡対策委員会などに参加しチーム医療の一員として活動しています。

